

14-12-12  
内閣府

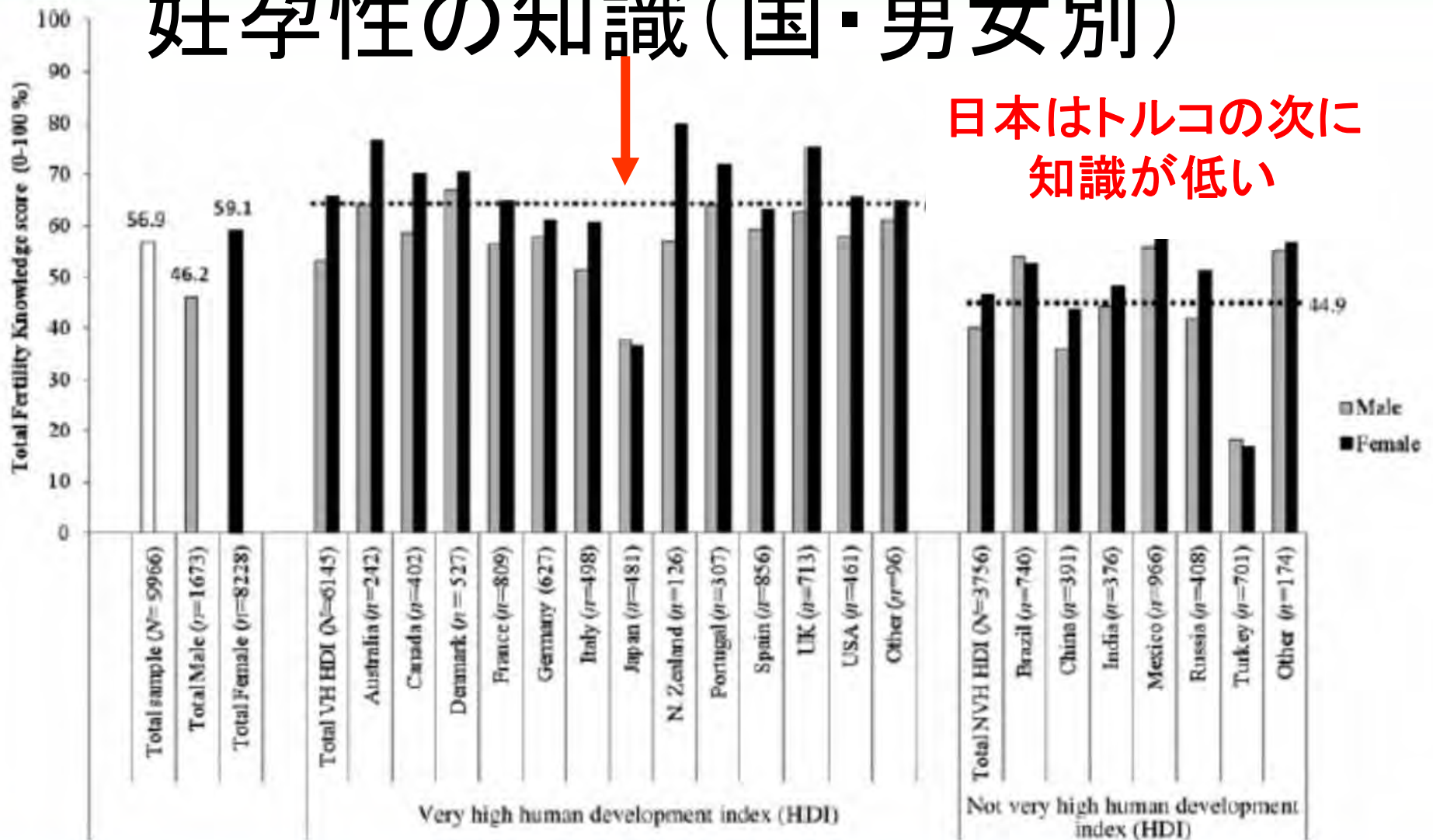
資料2

# 妊娠適齢期を意識した ライフプランニング

国立成育医療研究センター  
周産期・母性医療診療センター  
齊藤英和

妊孕性の知識教育が必要である

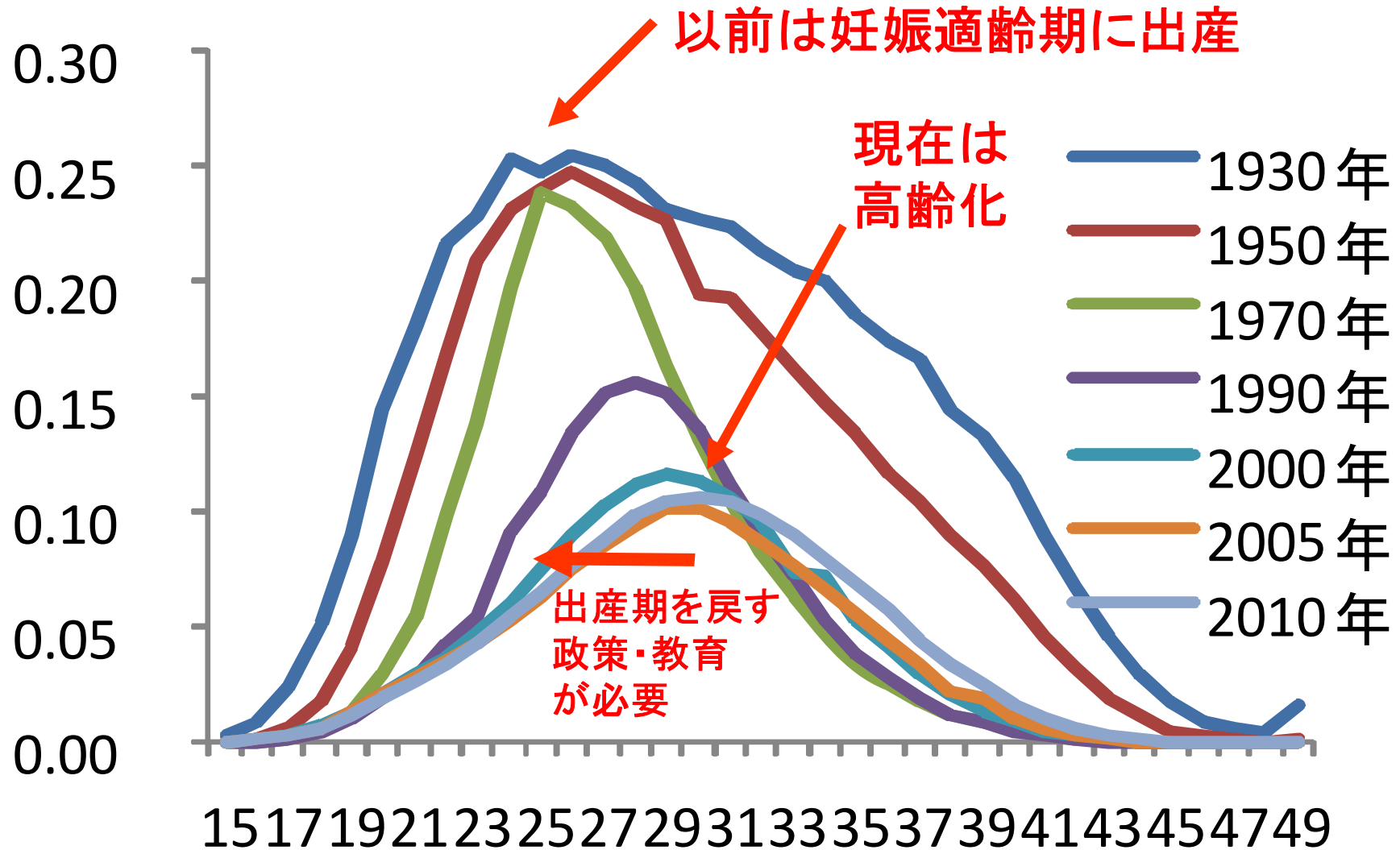
# 妊孕性の知識(国・男女別)



Human R1eproduction,28:385-397, 2013

妊孕性の知識教育が必要である

# 年齢別出生率

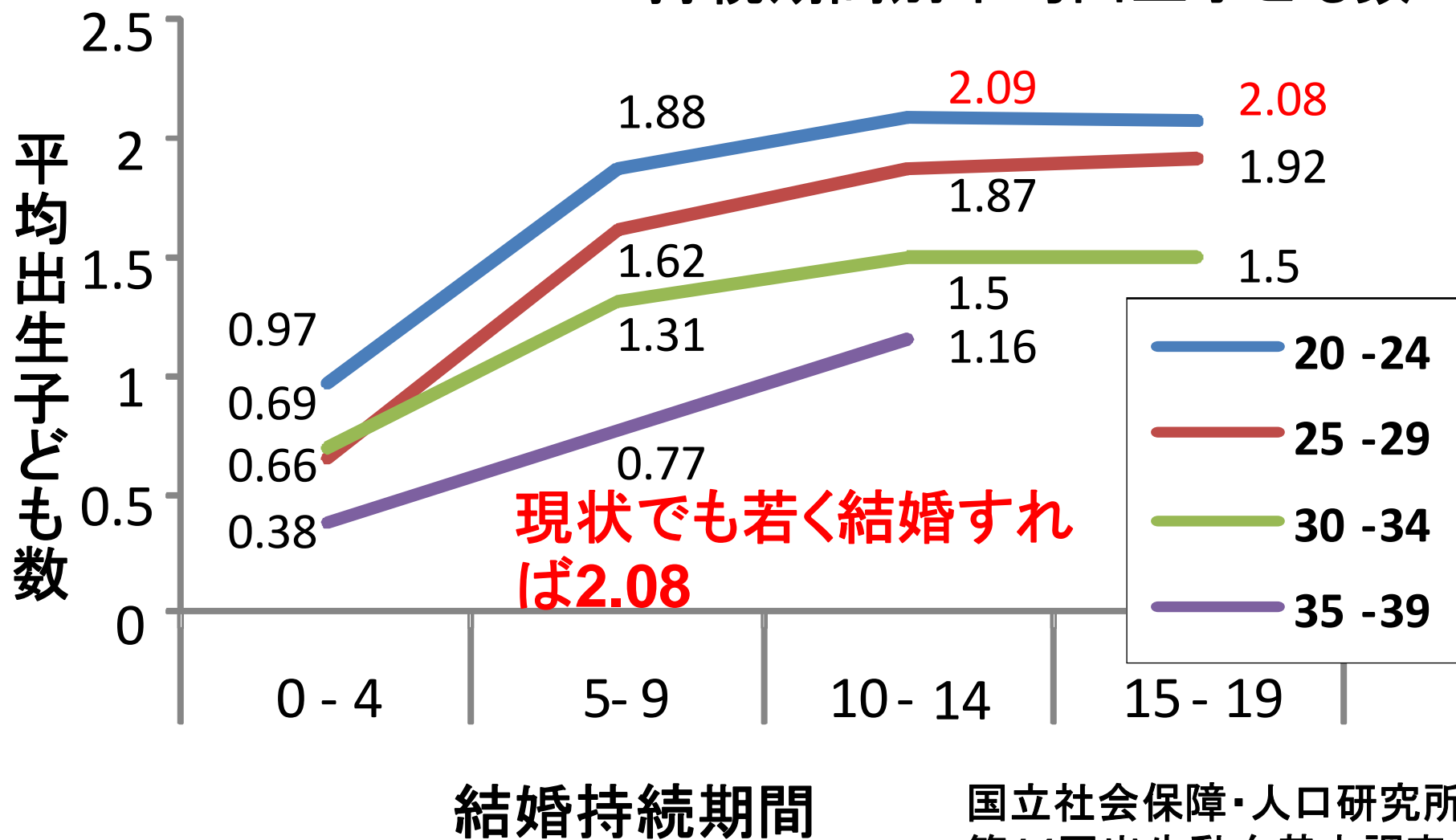


出生率 = ある年齢の女性から生まれた子ども数 ÷  
その年齢の女性人口

国立社会保障・人口研究所  
人口統計資料集2013

## 妊孕性の知識教育が必要である

### 妻の結婚年齢別に見た、結婚持続期間別平均出生子ども数



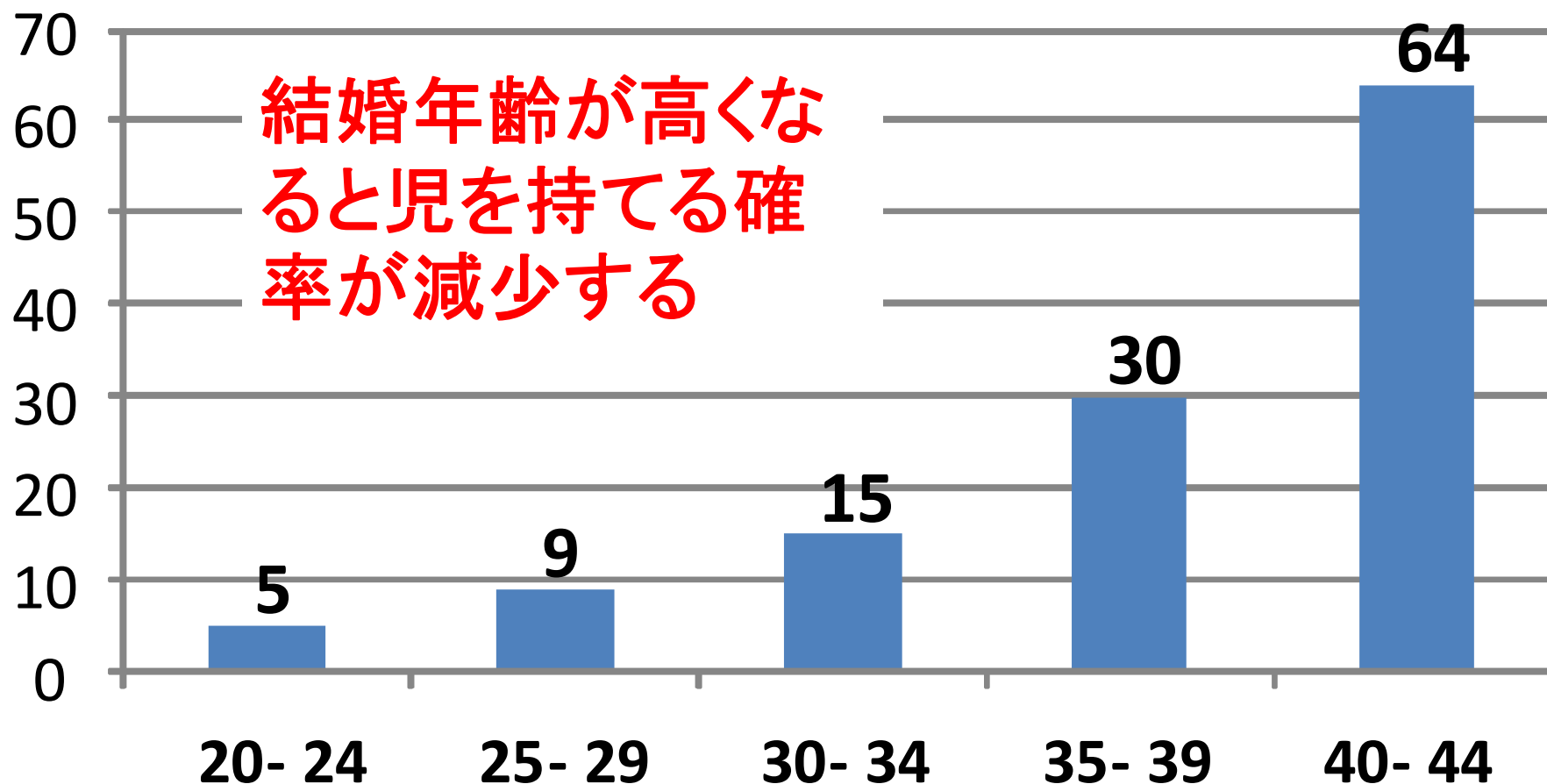
国立社会保障・人口研究所  
第14回出生動向基本調査

## 妊娠・出産・育児に 適した時期は20代

ヒトは男女とも加齢に伴い妊娠する能力が減弱し、また、妊娠中や分娩時のリスクや出生児のリスクが増加する。また、育児には体力が必要です。

## 妊孕性の知識教育の内容①

### (%) 女性の結婚年齢と生涯不妊率の関係

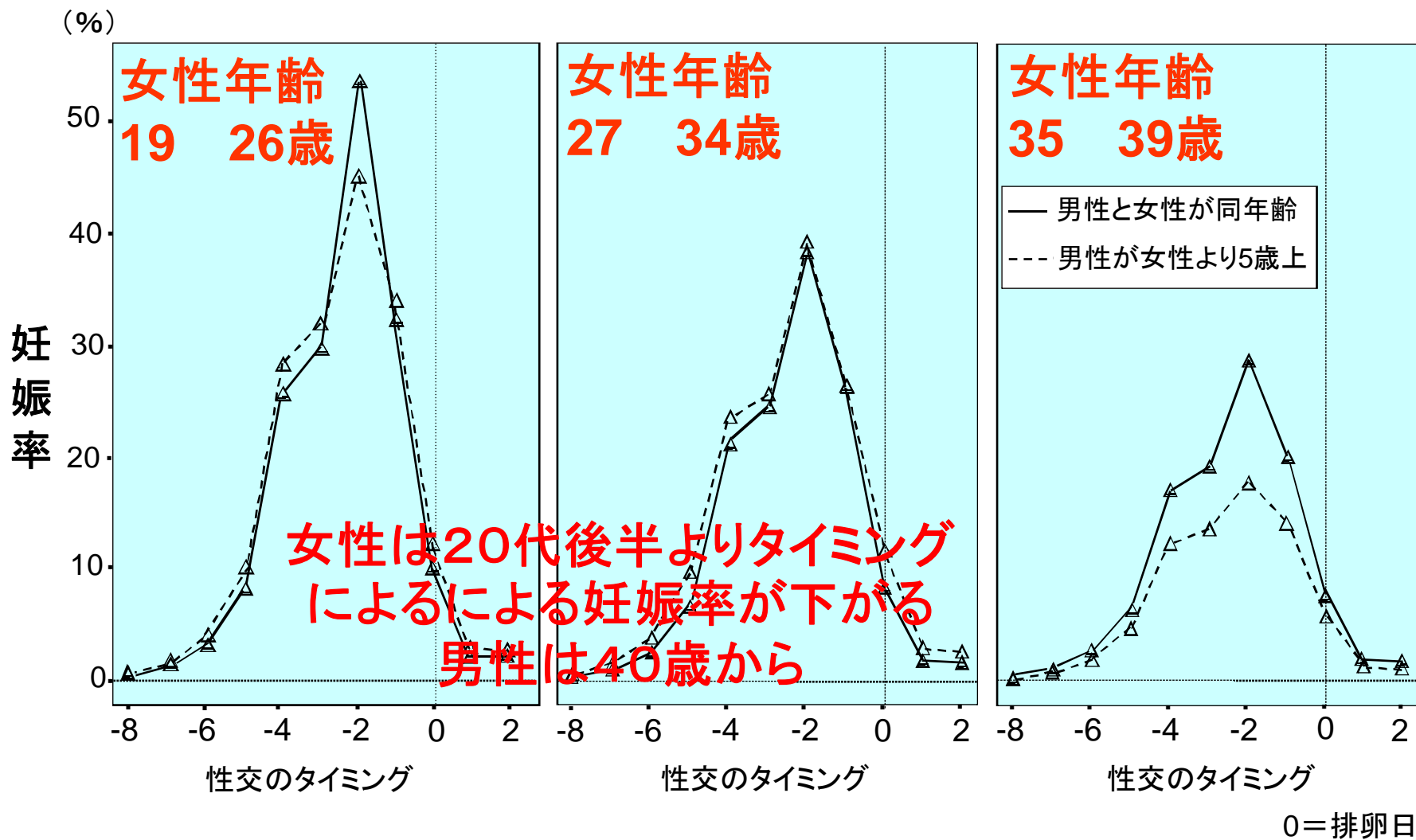


結婚年齢

Menken J et al:Science233(4771): 1389-94, 1986

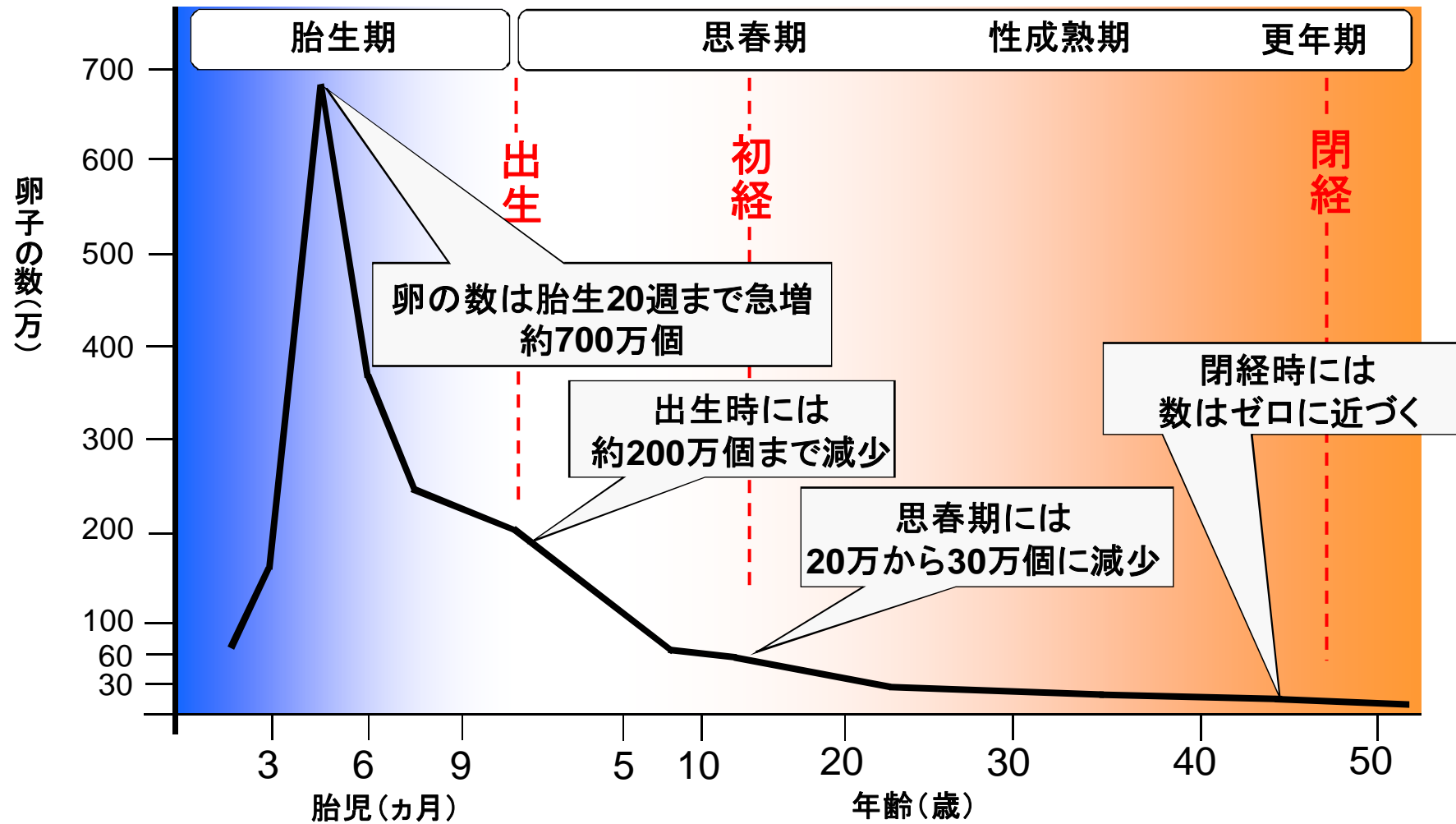
## 妊孕性の知識教育の内容②

# 年齢別にみる排卵と妊娠率の関係



(Human Reproduction Vol.17, No.5 pp. 1399-1403, 2002)

## 卵子は排卵しなくてもどんどん減少する



Baker TG: Am J Obstet Gynecol; 110: 746, 1971

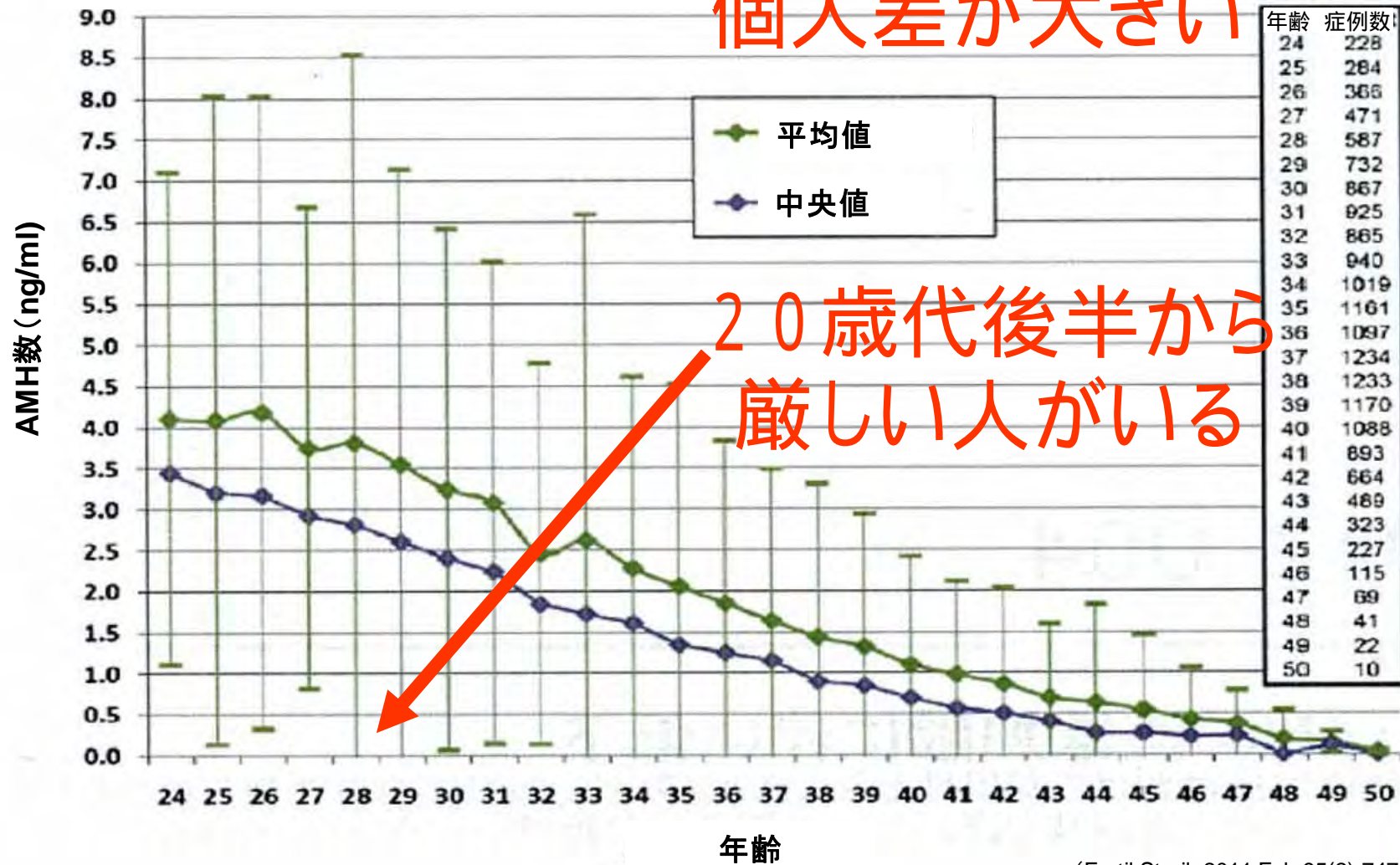


# 妊孕性の知識教育の内容④

## 年齢とAMH値

抗ミュラー管ホルモン (AMH) は  
卵巣内の卵子数を反映する

卵子の数は  
個人差が大きい

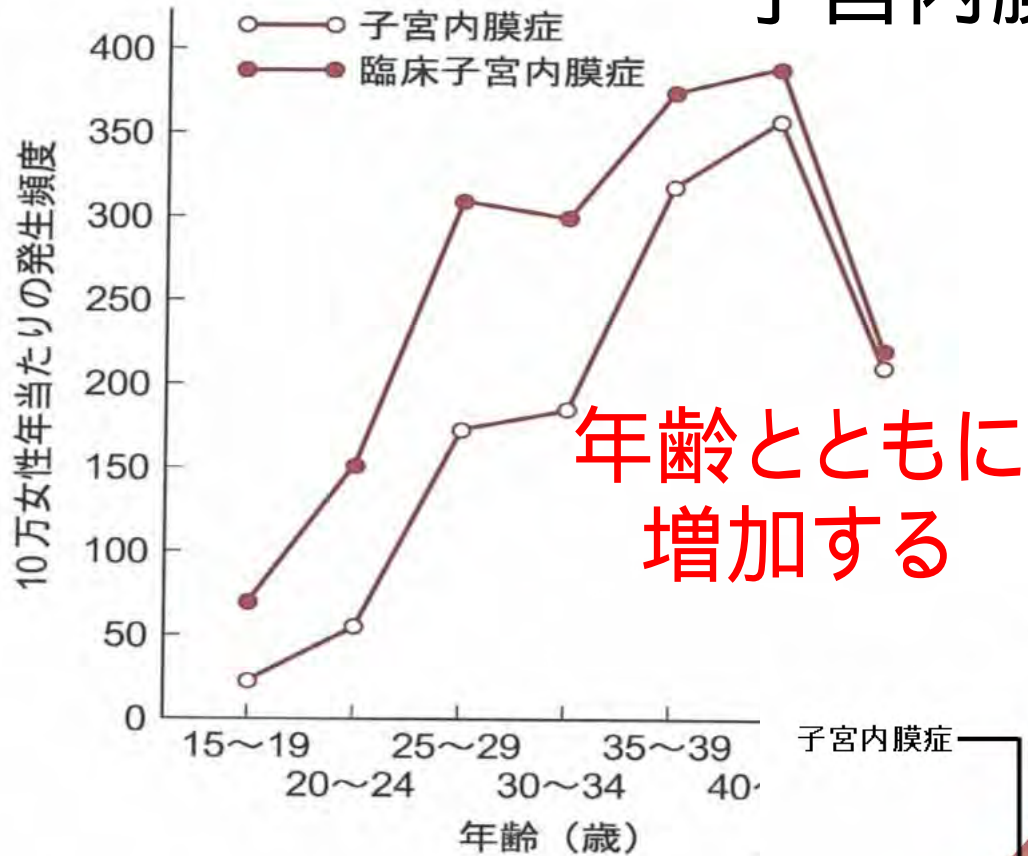


20歳代後半から  
厳しい人がいる

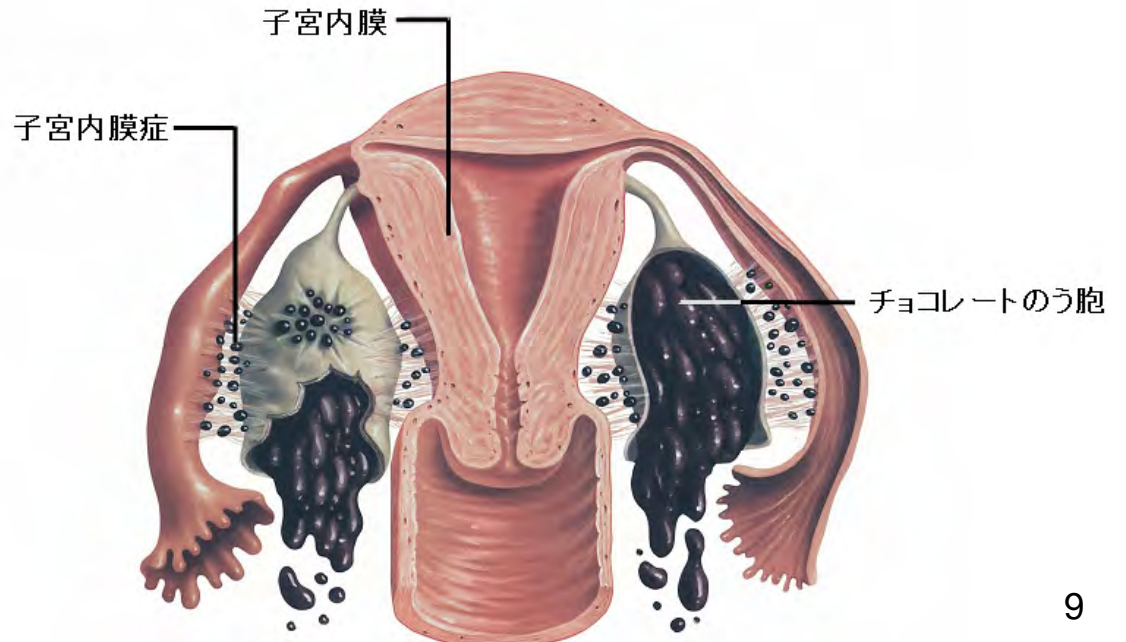
(Fertil Steril. 2011 Feb;95(2):747-50)

## 妊孕性の知識教育の内容⑤

# 子宮内膜症(不妊原因の一つ)



妊娠出産は月経回数を減らすとともに、妊娠時のホルモン変化は、すでに発生していた子宮内膜症を治療する。



## 妊孕性の知識教育の内容⑥ 母の年齢と自然流産率

母の年齢が高くなるほど、自然流産率が高くなる。

年齢区分	妊娠例数	流産例数	流産率(%)
24歳以下	90	15	16.7
25～29歳	673	74	11.0
30～34歳	651	65	10.0
35～39歳	261	54	20.7*
40歳以上	92	38	41.3*
合計	1,767	246	13.9

妊娠適齢期

\* 25～29、30～34歳の群と比較して有意差あり(p<0.01)

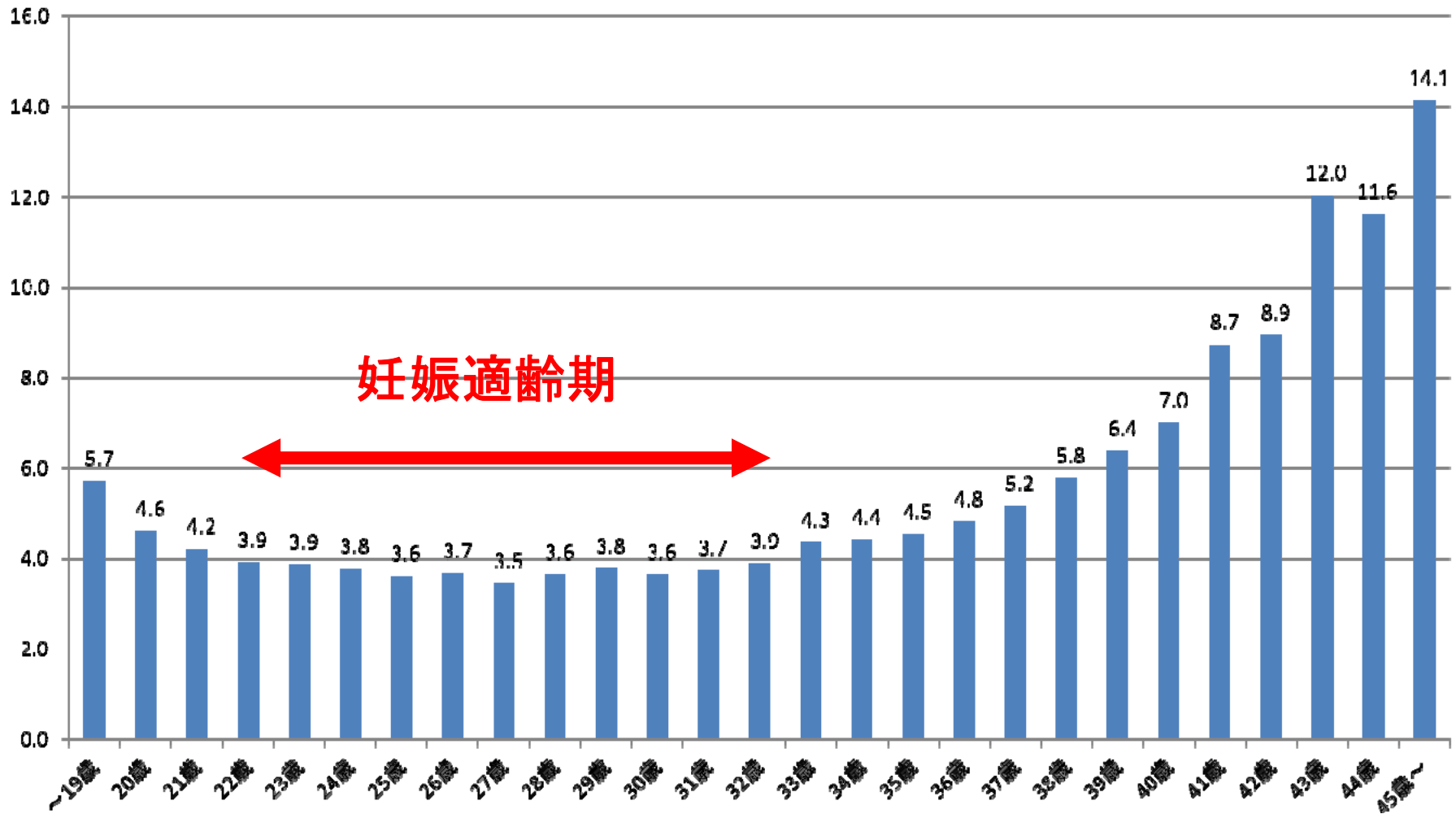
資料: 虎ノ門病院産婦人科 1989.1.～1991.7.データ

# 妊孕性の知識教育の内容⑦

## 年齢別にみた周産期死亡率(出産千対)

(平成19-23年の平均値)

単位 件数/出産千対



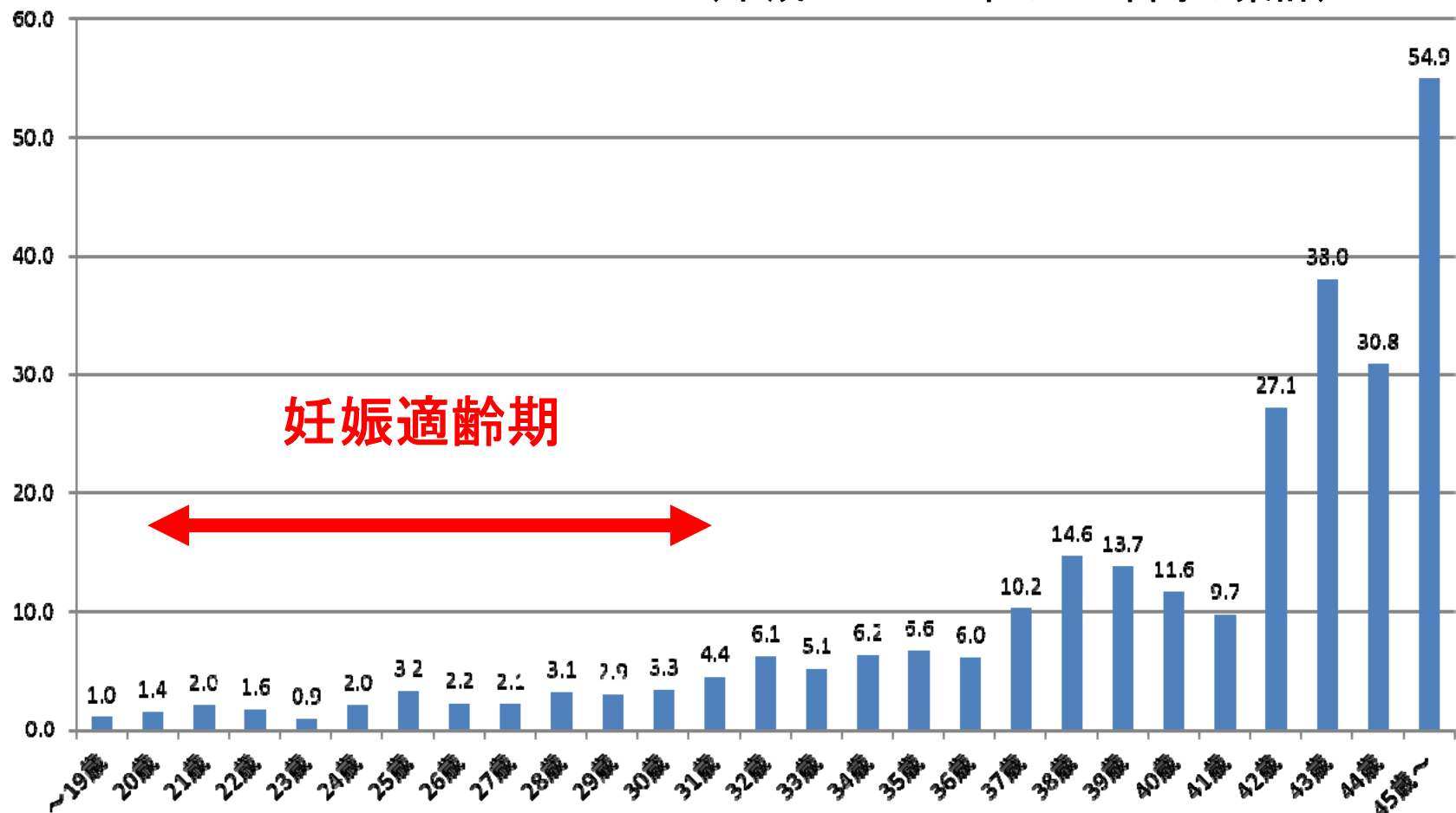
注: 1) 周産期死亡率は、一年間の周産期死亡数(妊娠満22週以後の死産数+早期新生児死亡数(生後1週間未満の死亡数))を一年間の出産数(出生数+妊娠満22週以後の死産数)で割ったもの(出産千対)である。

(厚生労働省人口動態統計の特別集計を元に母子保健課にて作成)

## 妊孕性の知識教育の内容⑧

### 年齢別にみた妊産婦死亡率(出産十萬対) (平成14-23年の10年間の累計)

単位 件/出産十萬対



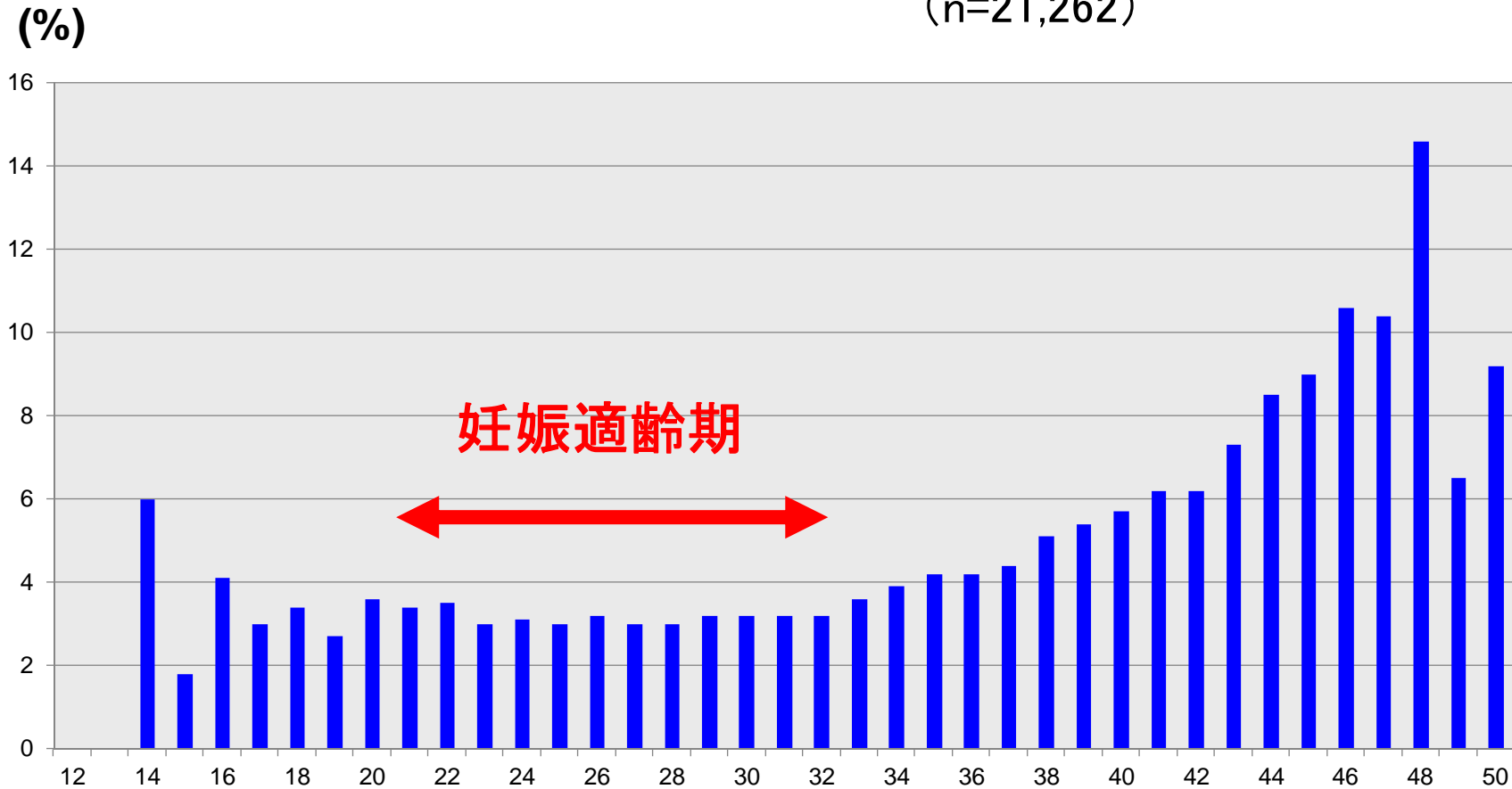
- 注: 1) 妊産婦死亡は、妊娠中又は妊娠終了後満42日未満の死亡で、妊娠の期間及び部位には関係しないが、妊娠もしくはその管理に関連した又はそれらによって悪化したすべての原因によるものをいう。ただし、不慮又は偶発の原因によるものを除く。  
2) 妊産婦死亡率は、年間妊産婦死亡数の累計(平成14~23年)を年間出産数(出生数+妊娠満12週以後の死産数)の累計(平成14~23年)で割ったもの(出産十萬対)である。

(厚生労働省人口動態統計の特別集計を元に母子保健課にて作成)

## 妊孕性の知識教育の内容⑨

### 年齢別にみた妊娠高血圧症候群の発症頻度

(n=21,262)

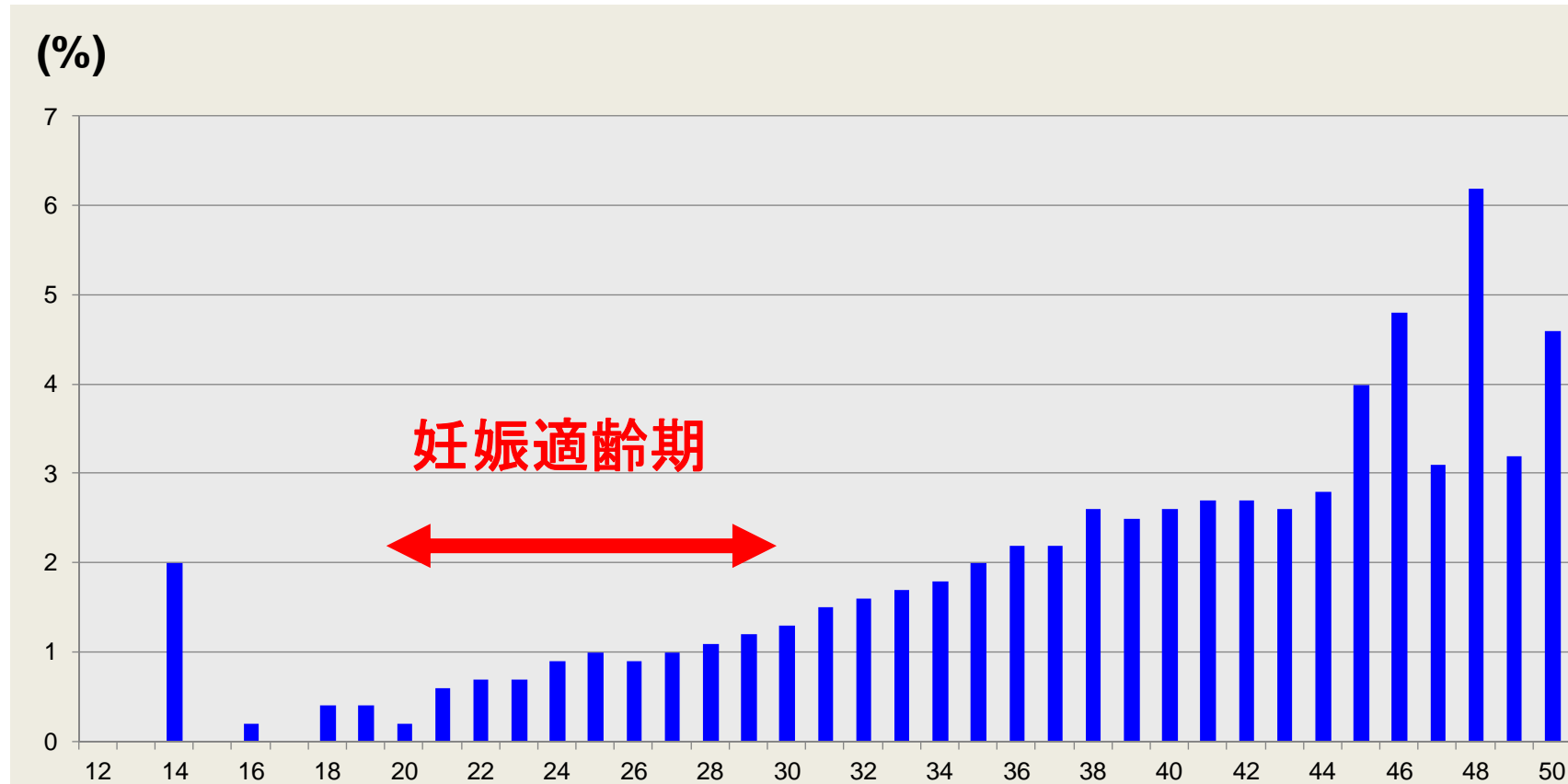


妊娠高血圧症候群は加齢に伴い増加し、  
特に40歳を超えると急激に増加する傾向にある

# 妊孕性の知識教育の内容⑩

## 年齢別にみた前置胎盤の発症頻度

(n=8,876)



前置胎盤は加齢に伴い増加する傾向にある

# 妊孕性の知識教育の内容⑪

## 女性の年齢と子どもの染色体異常のリスク

母の年齢	ダウン症の子が生まれる頻度		何らかの染色体異常をもつ子が生まれる頻度	
	出生千対		出生千対	
20	1/1667	0.6	1/526	1.9
25	1/1250	0.8	1/476	2.1
30	1/952	1.1	1/384	2.6
31	1/909	1.1	1/384	2.6
32	1/769	1.3	1/323	3.1
33	1/625	1.6	1/286	3.5
34	1/500	2.0	1/238	4.2
35	1/385	2.6	1/192	5.2
36	1/294	3.4	1/156	6.4
37	1/227	4.4	1/127	7.9
38	1/175	5.7	1/102	9.8
39	1/137	7.3	1/83	12.0
40	1/106	9.4	1/66	15.2
41	1/82	12.2	1/53	18.9
42	1/64	15.6	1/42	23.8
43	1/50	20.0	1/33	30.3
44	1/38	26.3	1/26	38.5
45	1/30	33.3	1/21	47.6
46	1/23	43.5	1/16	62.5
47	1/18	55.6	1/13	76.9
48	1/14	71.4	1/10	100.0
49	1/11	90.9	1/8	125.0

妊娠適齢期



資料 : Hook EB (Obstetrics and Gynecology 58:282-285, 1981)

Hook EB, Cross PK, Schreinemachers DM (Journal of the American Medical Association 249(15):2034-2038, 1983)

を元に母子保健課にて作成